

公開シンポジウム

静岡から考える沿岸域の生物多様性とリスク

参加無料※

2016年10月9日(日)

13:30~16:00

ふじのくに地球環境史
ミュージアム・講堂

※施設入館料(一般300円)
が必要です

マングローブ林の変遷と沿岸環境の保全

高山 浩司 (ふじのくに地球環境史ミュージアム・准教授)

魚類相からみる静岡の生物多様性とその保全

渋川 浩一 (ふじのくに地球環境史ミュージアム・教授)

貝形虫類の分類学的多様性とその保全

塚越 哲 (静岡大学理学部・教授)

外来種はなぜ悪いのか？

岸本 年郎 (ふじのくに地球環境史ミュージアム・准教授)

生物多様性の保全とは何か

國井 秀伸 (島根大学汽水域研究センター・教授 / 汽水域研究会・会長)

